



西会津小だより

12月号

No.21

【教育目標】

心身ともにたくましく、
未来を生き抜く児童
令和3年11月30日(火)
文責：校長 博多弘泰

西会津町でしかできない体験学習

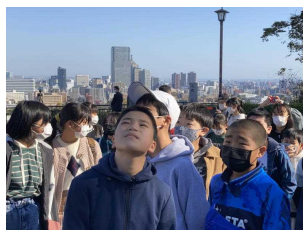
今年度から卒業証書の様式等が変わります。大きさがB4版からA4版に、素材が「出ヶ原和紙」に変わります。6年生は、講師の滝澤徹也さん・大山栞那さんの指導の下、「出ヶ原和紙」による卒業証書作製に取り組んでいます。10月26日(火)には、「出ヶ原和紙」のいわれをVTRで確認し、その後、素材の楮(コウゾ)の皮を剥く作業を行いました。11月1日(月)には、楮を木槌で数多くたたき、繊維をほぐす作業を行いました。11月25日(木)には、実際に出ヶ原地区に行き、滝澤徹也さんの工房での和紙漉きを体験しました。きれいな水と繊維がほぐされた楮を攪拌し溶かした後、ネリが加えられた舟水で、一人一人が汲んでは左右・前後に何回も揺すりながら繊維が均等になるようにし、自分の卒業証書となる和紙を漉きました。

子どもたちは「西会津町でしかできない体験」を通して、自分が生まれ育ち生活している西会津町のよさを再発見し、西会津町に対する愛着や誇り、関心が高まったと同時に、先人の知恵のすばらしさに気づくことができました。また、自分の手で漉いた和紙を使って自分の卒業証書を作ることによって、物を大切にする心を育むことができたと思います。



「自分で考える」修学旅行(仙台・松島方面)

2度延期された修学旅行が、11月18日(木)・19日(金)の1泊2日で行われました。子どもたちが最も楽しみにしていた活動は、仙台市内での約4時間30分の班別研修です。班別研修は、班のメンバーで行程をプランニングするため「自分で考える」という思考があり、子どもたちの主体性を伸ばす上でも大切な役割を担っています。大きなたくさんビルがある仙台市内を、地図を片手に班のメンバーと協力しながら昼食場所や目的の店を探したり、地下鉄に乗ったりする体験は、子どもたちにとってかけがえのない機会になりました。また、2日間、同じ時間や空間を共有することで、互いのよさを再認識することができました。6年生は、5年生の時に今回の修学旅行を見据えて、会津若松市内で班別研修を実施しました。その成果や反省が、修学旅行に十分に活かされていたと思います。



学校運営協議会委員の方による授業参観



道徳教育担当の学校運営協議会委員の方による、道徳科の授業参観が4年生で行われました。教材「へこたれないきせきのりんご」を用い、主人公を自分に置き換えたときの行動等をじっくり考え、ねらいに迫りました。授業後に、特に不易の部分についての貴重なアドバイスをいただきましたので、今後、学校全体での道徳科の授業づくりに生かしていきたいです。



12月の行事予定

- 1日(水)授業参観・PTA講演会
- 2日(木)授業研究会(3年1組)
- 3日(金)授業研究会(4年)
- 4日(土)子どもの主張大会
- 9日(木) 10日(金) 14日(火)短縮5校時
- 16日(木)地区児童会
- 17日(金)授業研究会(6年)
- 21日(火)環境美化活動
- 23日(木)第2学期終業式(短縮4校時)